

令和元年 第1回 街頭募金活動

ボランティア部

国連は、ロヒンギャを“世界で最も迫害されている少数民族”であると表現しています。ロヒンギャはラカイン州に長く居住していましたが、数十年に渡り差別を受け、1982年にはミャンマー国籍を剥奪され、ミャンマーとの国境を越えたバングラデシュのコックス・バザール県に避難をしています。迫害と暴力から逃れてきた人々の大部分は、ここの難民キャンプに滞在しています。キャンプ内は水も食糧も不足しており、寝泊りは簡素な骨組みにビニールを被せたようなテントしかありません。飲料水がないため、人々は水田の水や、手で小さな穴を掘って、そこに溜まった水を飲んでいますが、排泄物などに汚染されているため非常に不衛生です。

この緊急事態は、人々の健康状態や栄養状態を著しく悪化させています。重度の栄養失調、急性の下痢や赤痢、呼吸器疾患は身体的のみならず、精神的にも強い影響を及ぼします。残虐行為による被害のトラウマは、精神衰弱、無言症などに表れます。また、不衛生な環境はコレラや麻疹を蔓延させる危険性があります。無国籍状態であるロヒンギャに対する人道的な支援が、必要とされています。

本校もボランティア部員を中心に昨年度から4回目のロヒンギャ難民街頭募金活動を実施しました。昨年度は、異文化理解を学ぶ生徒が、今回は生徒会が街頭募金に参加しました。

今回の街頭募金の報告は以下です。

記

1 実施日 令和元年6月2日日曜日 9時～11時

2 場 所 姫路城前の歩道

3 参加生徒 インターアクトクラブ（IAC、生徒会とボランティア部員で構成）で活動している2・3年生12名と教員2名参加

4 準備物 道路使用許可申請書、異文化理解の生徒が英文で書いたロヒンギャ難民のパネル2枚
ポケットティッシュ、募金箱等

5 募金総額 14,123円 8 活動の様子

6 内 訳

種 類	枚 数	金 額
1,000円	2	2,000円
500円	9	4,500円
100円	62	6,200円
50円	7	350円
10円	55	550円
5円	54	270円
1円	253	253円
合 計	14,123円	



写真1 姫路城前での募金活動



写真2 昨年度異文化理解の生徒が作成したパネル



写真3 ユニセフの募金箱を持った生徒たち

〔一言〕今回は6月初旬で観光客の方々は少なかったのですが、多くの方々から募金を頂きました。

7 募 金 先 口座名義：公益財団法人 日本ユニセフ協会 ロヒンギャ難民 緊急募金へ全額寄付
郵便局（ゆうちょ銀行）募金口座 振替口座：00190-5-31000